

特別展示

旅する タイル

先駆者たちの足跡

私たちは『旅に出る』

タイルと夢を詰め込んで

美濃焼タイル産業の黎明期を支え、
全国そして世界へ向かった人々の物語。

The Great Journey of
The Tile Peddlers




**MOSAIC
TILE
MUSEUM**
Tajimi



2025 **5.24** SAT — **9.28** SUN
多治見市モザイクタイルミュージアム 3Fギャラリー

■ 休館日 ◆ 月曜日 (休日の場合は翌平日) ■ 開館時間 ◆ 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分)
■ 観覧料 ◆ 一般500円、団体(20名以上)400円、高校生以下無料 (要学生証提示)
障がい者手帳をお持ちの方及び付き添い1名無料

主催 / 多治見市モザイクタイルミュージアム

協力 / 株式会社カネキ製陶所 株式会社サンワ 株式会社古川タイル 株式会社ミキ
多治見市図書館郷土資料室 入谷弘喜 隅谷洋里

旅するタイル 先駆者たちの足跡

The Great Journey of
The Tile Peddlers



「旅に出る」という表現は、どこか遠い場所へ行く、旅行をするというイメージで使われることが多いと思います。しかし、タイルをはじめ、やきものの生産が盛んな多治見市周辺では、主にやきものの業者では「旅に出る」という表現は上述以外に、「やきものの販売営業で各地へ向かう」という意味で使われてきました。

昭和10年(1935)、多治見市笠原町で山内逸三が施釉磁器モザイクタイルの開発に成功し、量産方法を確立したことを皮切りに、この地でもモザイクタイルを中心にタイル産業が盛んになっていきました。その後、戦後の昭和20年代(1945)には、製造されたタイルの販売を専門とする商社を中心に旅に出ることで、美濃焼タイルを全国各地、世界へ広める重要な役割を担ってきました。

このようなタイル産業の黎明期を支えてきた人々が、どのような方法でタイルを全国や世界に広め、そのノウハウが現代にどう活かされているかを展示を通して探ります。本展では実際に使用されてきた道具や、旅することに携わっていた方々へのインタビューを踏まえた展示で、タイルを全国そして世界へ広めた人々の跡を辿ります。「旅に出る」以外にも、モザイクタイルを組み合わせて絵画や模様をつくることを「アートを組む」と表現するように、タイル産業が発展する中で、その仕事内容を独特な言葉で表すことがありました。当事者からすると普段から言い慣れているただの言葉でも、傍から見ると素敵な表現に聞こえることがあります。タイル業界ならではの表現を切り口に、タイル産業の一端を知るきっかけとなれば幸いです。



関連企画

ギャラリートーク

「今こそ語ろう モザイクタイル 一旅するタイル編」

素敵なゲストと当館学芸員が特別展示「旅するタイル」にまつわるトークイベントを行います。

展示資料のことや、裏話・体験談など、タイルにまつわる貴重なお話を展開します！

【開催日】 2025年6月21日(土) 14:00-14:30
【ゲスト】 株式会社カネキ製陶所
取締役会長 宮川 憲太郎 氏

【会場】 多治見市モザイクタイルミュージアム
3F ギャラリー
※詳細、次回開催についてはホームページでお知らせします。

なつやすみ×特別展示関連企画

ワークショップ「発見！きみの見本帳」

昔はタイル販売を専門とする会社の人が、ダンボールを切ったものを台紙にして見本帳をつくるのがあったそうです。たくさんタイルが発見できるミュージアムに来て、お気に入りのタイルを発掘して見本帳をつくってみよう！

※見本帳とは…タイルを扱うお客さんに実物を見せるため、台紙に色々な種類のタイルを貼ったもの。

【会場】 多治見市モザイクタイルミュージアム 2F 特設会場
【開催日】 2025年8月23日(土)、2025年8月24日(日)
※参加料等詳細についてはホームページでお知らせします。



タイルの見本などを詰め込んでいた革製鞆



タイルを台紙につけた見本帳



様々なタイル用荷札



出荷するタイルを梱包する際に使用した道具

MOSAIC
TILE
MUSEUM
Tajimi

休館日 月曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始
開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分)
観覧料 一般500円、団体(20名以上)400円、高校生以下無料(学生証をご提示ください)
※特別展示観覧料金でのご入場となります。
年間パスポート 1,020円
◎療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者手帳をお持ちの方、及び、その付添いの方1名は無料です。

〒507-0901 多治見市笠原町2082番地の5
TEL 0572-43-5101 FAX 0572-43-5114

<https://www.mosaictile-museum.jp>



【公共交通機関】名古屋から、JR中央本線下り、多治見・中津川方面行き、多治見駅下車。多治見駅から東鉄バス(約20分の乗車)、東草口行き、羽根行きにて、モザイクタイルミュージアム下車。

【自動車】多治見ICから約25分。
土岐南多治見ICから約15分。
※駐車場は笠原交流センターなどの合同駐車場です。